

「住むなら和歌山市」の実現に向けて

1. はじめに

和歌山市は、紀伊半島の北西部に位置し、市のほぼ中央部を有吉佐和子の小説でも有名な紀の川が東西に流れ、河口の平野部を中心にまちが形成されています。北部は緑豊かな和泉山脈が連なり、北西部から南部にかけては風光明媚な紀淡海峡や和歌浦湾など、豊かな自然に恵まれています。また、紀州徳川家55万5千石の城下町として栄え、明治以降も綿ネル、捺染、木工、皮革などが地場産業として発達し、戦後は鉄鋼業や化学工業などの重化学工業を中心とした産業も発達してきました。

特に機械や化学、金属などの高い技術力を必要とする業種では、国際競争の激化の中で、世界のトップシェアを維持しています。



和歌山城

2. 社会資本整備とストック効果

物流の活性化、企業の誘致さらには観光振興などに大きな効果が期待される広域道路網の整備において、平成29年春に京都・奈良・和歌山を結び関西大環状道路の一部を構成する京奈和自動車道紀北西道路、第二阪和国道の大阪と和歌山を結ぶ最後の区間が、相次いで開通する予定です。さらに、本年度から両路線を繋ぐ（仮称）京奈和・第二阪和連絡道を含む和歌山都市圏の直轄道路網

調査に着手しており、事業化に向け取り組んでいるところです。

また、大阪中心部から和歌山県南部を結ぶ高速道路である阪和自動車道のインターチェンジが市内に2箇所ありますが、新たに和歌山南スマートインターチェンジ（仮称）を、平成30年度の完成を目指し整備を進めています。そして、このインターチェンジと臨海部の工業団地を結ぶ都市計画道路や既存インターチェンジとまちなかを結ぶ道路の整備など市内交通網の充実に取り組んでいます。

このような社会資本の整備によるストック効果が徐々に発現してきました。平成27年度は本社移転を含む10件の企業立地があり、企業立地促進奨励金制度の創設（平成12年）以降、最多となりました。また、国土交通省が発表した地価公示では、本市商業地の平均価格が25年ぶりに上昇し、さらに、本市における外国人宿泊者数が10万人を超え、4年で約18倍となっています。

今後は、広域的な連携を図りつつ、「チャンスを活かした国際戦略」、「文化とキャンパスのあるまち」等の多様な施策に取り組むことにより、幅広い世代から住みたい、訪れたいと思われる魅力あるまちづくり「住むなら和歌山市」の実現に向けて進めていきたいと考えています。

3. チャンスを活かした国際戦略

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの外国人観光客が訪れます。

さらに、第二阪和国道の開通により、関西国際空港や大阪市内とのネットワーク強化が図れるとともに、京奈和自動車道の整備により中部や関東



和歌山市長 **お ば な ま さ ひ ろ**
尾 花 正 啓

圏と繋がり、観光や産業面でも新たな国際戦略を立てることができます。

このチャンスを最大限に活かすため、外国人を含む多くの人々が交流できる青少年国際交流センター（仮称）や加太から万葉集にも詠われた和歌の浦、マリナーシティーを結ぶサイクリングロードの整備を進めています。まちなかでは和歌山城の周辺整備や忍者体験イベントなど、歴史・文化的資源を活用したまちづくりを進めています。さらに、インバウンド観光を促進し、クルーズ客船誘致、おもてなしの向上に取り組むとともに、地域の多様な関係者との連携を図るため観光協会のDMO化を進めることにより、観光客の誘客・消費拡大に向け取り組んでいきます。



忍者体験

4. 文化とキャンパスのあるまち

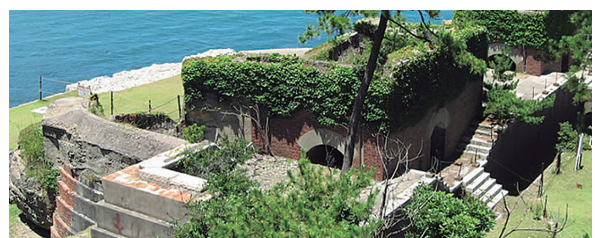
本市は、小中一貫校の新設に伴い、閉校となる中心市街地の学校跡地・校舎を活用した大学誘致に取り組んできました。平成30年度に東京医療保健大学（仮称）和歌山看護学部が、平成31年度に（仮称）和歌山信愛大学教育学部が、平成33年度に和歌山県立医科大学薬学部の開校が予定されており、半径1km圏内に3つの大学が誕生します。

また、大阪からの玄関口となる南海和歌山市駅前の再開発、文化・芸術の拠点となる市民会館等の都市機能の再編、民間活力による居住を中心とした市街地再開発、空き店舗を活用したリノベーションまちづくりなど、コンパクトシティに向けた中心市街地の整備が大きく動き出しました。

ハード面だけでなく、祭り、文化、芸術やまちづくりを担っていただいている地域の方々と学生や若い人たちが共に、文化と大学のまちとしての魅力を高めていける環境づくりを進めていきます。

5. おわりに

本市には、「気候」「自然」「文化」「食」の4つの観光資源があります。「気候」は温暖で、春は桜、夏は海水浴場、秋は紅葉と様々な四季が楽しむことができ、瀬戸内海国立公園の特別区に指定され「天空の城ラピュタ」で話題を集めている「友ヶ島」や雑賀崎、和歌浦などの「自然」にも恵まれています。また、「文化」では、和歌山城や江戸時代から続く紀州東照宮など様々な文化財があり、和歌山ラーメン、熊野牛、新鮮な海産物（加太の鯛、和歌浦湾のわかしらす、足赤えび）などの「食」も豊富ですので、ぜひ本市を訪れて体感していただければ幸いです。



友ヶ島（砲台跡）